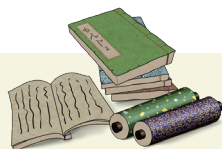
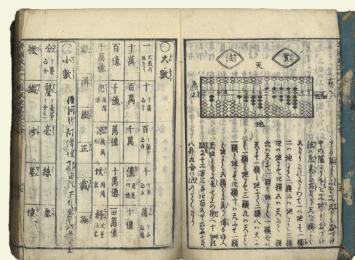


古文書を読む会



昔の人が書き残した文書資料などを教材として、
くずし字を読むコツを学びます。

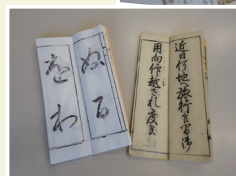
- と き** 第3回 午後2時～4時
- と ころ** 2階研修室
- 内 容** 配付テキストを黙読した後、解説をします。
- 対 象** どなたでも
- 参加費** 1回 300円 ※申し込み不要
- 持ち物** 筆記用具



版木でむかしの教科書をつくろう

明治時代の本物の版木を使い版画で昔の教科書を作ります。

- と き** 8月22日(火)～27日(日) ①午前10時～ ②午後2時～
 - と ころ** 2階研修室
 - 対 象** 各回1組2人まで **参加費** 100円
 - 申し込み** 8月13日(日)までに、直接、電話、メールで住所・氏名・電話番号・希望日時を博物館 (☒ museum@city.gamagori.lg.jp) へ。
- ※汚れてもよい服装で参加してください。



館長の
ひょうりょう



小林 龍二

今まで秘密にしていたのですが、飼育員は世を忍ぶ仮の姿で、実は弱きものを救出する正義のヒーローなのです。ついに、言ってしまった…。

通称「赤い橋」の上流にスナメリがいる、という連絡があり副館長と2人で出動しました。現地では、やや痩せた成体のスナメリが1匹ウロウロ泳いでいます。何かの拍子に水門を突破し川の上流へ入ったものの、普段見ることのない人工物の水門が怖くて海に帰れないという状況。こころなしかスナメリも困った顔をしています。いやアンタが自分で入って来たのだから自分で帰れよ、と言ってもスナメリに言葉は通じません。そうこうしている間に潮が干いてきて、このままでは座礁確実！強い日差しは水中から出たスナメリの体には最悪です。大ピンチ！

水族館から若い飼育員2人を追加募集。さらに消防にも連絡し計6人のアベンジャーズが胴長を履き、刺



「スーパーヒーローたちには感謝しかないメリ。」
と言っている…はず！

激しいように下流の海の方へスナメリを誘導します。いつのまにか堤防周りにギャラリーもたくさん集まりだしてプレッシャーです。水門はすんなり突破しましたが、その先が恐怖の底なし沼地帯で足がヒザの上までヘッドの中にもふんごみ(ふんごむって三河弁ですね)人間の方が干潟で座礁し脱出不能になりそうでした。

若いスタッフが水没覚悟で誘導し、スナメリはなんとか海へ帰って行きました。年齢のおすでした。こうして水中徘徊スナメリ老人の大救出劇はヒーロー達の手によって成功したのです！